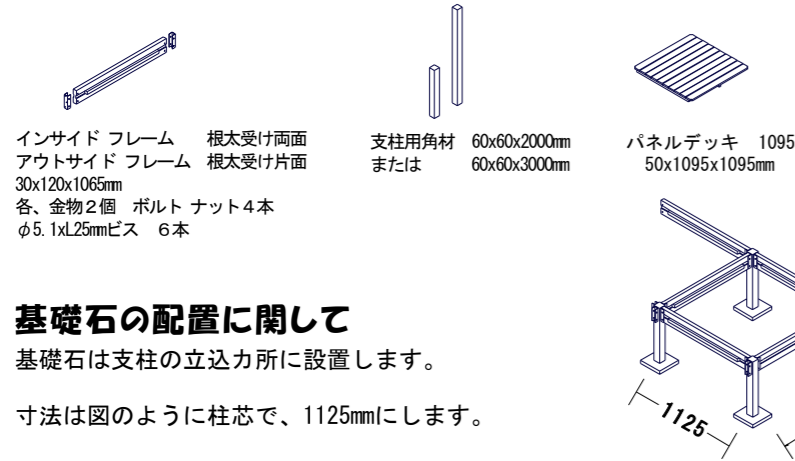


ユニットデッキ 1095 取り扱い説明書

組み立ての前に部材の確認をして下さい。



基礎石の配置に関して

基礎石は支柱の立込力所に設置します。

寸法は図のように柱芯で、1125mmにします。

デッキのレベルに関して

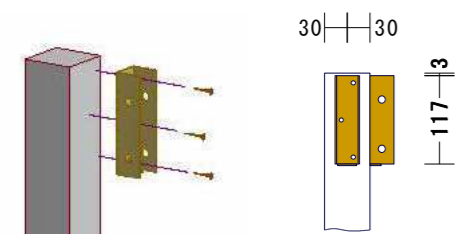
デッキ設置の最大のポイントは水平レベルの取り方で、これが済めばきれいな仕上がりは確実です。

基礎石の設置が完了したところで各支柱の長さを決定します。

支柱の上端がデッキ面になりますのでレーザー水準器を使用してそれぞれの支柱の長さを確定します。

★外周部でフェンスを取り付ける支柱は右の図のようにデッキレベルからフェンス支柱分を伸ばします。

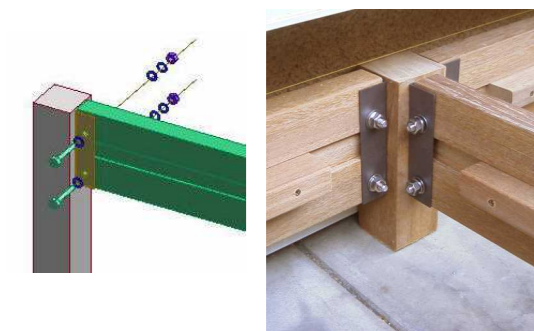
フレーム受金物の取付



長さが確定した支柱上部にフレーム受け金物をビス止めします。
★図のように支柱上部から3mm 下げた位置を金物の上部にします。
★コーナー用は90度の角度に隣り合う二面にビス止めします。
★コーナー以外の外側に接するポストには三面にビス止めします。
★デッキ中央側に位置するポストには四面すべてにビス止めします。
★外周部でフェンスを取り付ける支柱は右の図のようにします。

注意！ 金物を止めるビスを打つ際には4.8mm 程度の下穴を必ず開けてください。

フレームの取付



すべての支柱にフレーム受け金物を取り付け終わったら、フレームと支柱を結んで四角い枠を組み上げてゆきます。

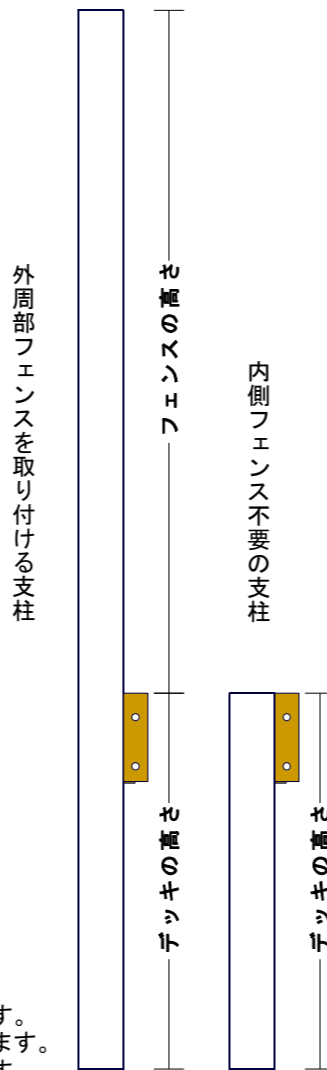
★ボルト+ワッシャー+フレーム+ワッシャー+スプリングワッシャー+ナットの順になるようにして締め付けてください。
★2本のレンチまたはスパナを使って締め込むと簡単に作業ができます。
★外側に接するフレームには根太受けの角材が片面にだけ付いています。
★内側に接するフレームには根太受けの角材が両面に付いていますので区別して組み上げてください。

必要工具 : スパナ、レンチ等 使用サイズ 13ミリ

*****ご注意*****

使用している硬質木材は耐久性がある木材で繊維が非常に硬いため、トゲで怪我をしない様に作業の際は必ず軍手等の手袋を着用してください！！

重量がありますので手を挟んだり、足の上に落としたりしないよう充分ご注意下さい。



パネルデッキをフレームの間にはめ込みます。

★最初の区画のボルトをしっかりと締め込み1枚目のパネルデッキをはめ込みます。
★1枚目がフレームの中にはめ込まれたら次の区画のボルトをしっかりと締め込み2枚目のパネルデッキをはめ込みます。この作業を繰り返し床面を完成させます。
★なかなかパネルデッキがはまらない場合はポストの位置をずらすようにするとうまくできます。

★はめ込み作業をする際にフレームとパネルデッキの間に指を挟んだりしないように充分に注意をして作業してください。

手摺りを取り付けます。

★手摺りを支柱の上に乗せて上面から支柱に対してビス止めをします。(要 下穴開け)
★手摺りが直角に交差する箇所は手摺りを45°にカットして額縁の様に合わせてください。
★フェンス面材は独自のデザインになるかと思いますので別途ご相談ください。
φ4mm 位のワイヤーを柱に通すという方法もあります。
★用意できる サイズは 20x105mm 30x120mm などがあります。

支柱の振れ止めについて

★デッキ下の支柱の長さが 800mm を超える場合は図のように支柱に板をビス止めて補強を施してください。
★振れ止め材は 30x60mm もしくは 20x105mm がお勧めです。

ご使用上の注意(必ずお読み下さい)

- この製品の素材は耐久性のある非常に硬い木材ですのでササクレ、トゲなどがささりケガをする危険がありますので直接肌に触れないように作業の際には手袋などをご使用下さい。
- 設置後、歩行する際には靴、サンダル等の履き物を使用して下さい、素足で歩行するとササクレ、トゲ等でケガをする危険があります。
- 天然素材特有の経年変化により変色、割れ、ササクレ、トゲがあらわれる事がありますので、ご使用になる前に点検する事をお勧めします。手摺りに衣服を掛けて乾かししたりした場合にそれらの繊維がほつれることがあります。ササクレが目立つ場合はサンドペーパーなどで表面を研磨してください、またトゲや割れて浮いた様な部分はカッターもしくはノコギリで切り取った後にサンドペーパーで表面を研磨してください。
- 鉄粉や銅パイプの切り粉等が木部に付着し木材の持つタンニンと反応して黒色の斑点が現れることがあります。カビではありません、タンニン鉄と言うもので専用の除去剤で綺麗になります。
- 雨などにより、木材の色素が床面または壁面に付着することがありますのでご注意下さい。
- 素材の特質に起因する経年変化、汚損そして誤った利用法による損害に対して当社は一切の責を負いません。
- この取り扱い説明書はいつでも見られるように大切に保管してください。

佐藤物産株式会社

URL : www.satobussan.co.jp/
Mail : post@satobussan.co.jp

〒171-0022
東京都豊島区南池袋 2-47-7
TEL. 03-3981-2274 FAX. 03-3981-2284